第15号　本小の教育「夏季研修会」　キャリア パスポート

○キャリア教育「県版=キャリア・パスポート」

今回は、県教育庁・義務教育課・学力向上推進室・指導主事の山内かおり先生を講師に招聘して、夏季校内研修会の一環として、『キャリア･パスポート』について、学習会を実施した。全職員参加のもとであったので、重複はさけて、しかし大切な所は再度確認をしながら、補足説明を加筆したい。そして、本校での取組を再度確認してみたい。台風４号を熱帯低気圧へと変え、本部町を晴天にした「晴れ女」の 山内かおり先生の熱意と明るさが、校内研修の充実へと繋がりました。「子ども達の未来」へ、生[活]かして　いきましょう。

■ 県教庁　義務課　学力向上推進室　指導主事　山内 かおり

【研修の様子（自己研鑽）】

■「講師紹介」城間 克也 教頭先生

【キャリア教育の在り方】

■「研修会の様子」受講する真剣な顔

【本校のキャリア教育・取組】

●「研究主任・綾乃」講師へお礼の粗品

■「キャリア教育」とは、

（[Career]と云う言葉は、「行路、足跡」を意味する）

一人一人の ― 社会的 / 職業的 ― 自立 に向け、必要となる ― 能 力 / 態 度 ― を育てること

※「キャリア・パスポート」とは、子供達が小学校から高校までの自らの学習状況やキャリア形成等を見通したり、振り返りをしたりして、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現に繋ぐため、自己変容、成長を確認し、自己評価できるよう工夫したポートフォリオだ。

■「キャリア教育」＝「生き方・在り方」

人は、他者との関わりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。これらの役割は、生涯と云う時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、繋がっていくものである。

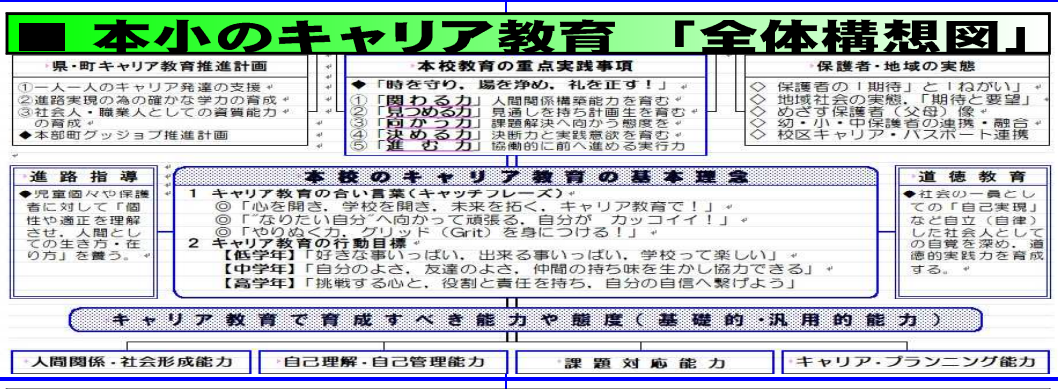
人は、その中で「自分らしい生き方・在り方」を追求していくものである。その連なりや積み重ねが「キャリア」である。

■「CAMI検査（尺度）」とは ？

（Control, Agency and Means - Interview）

心理学に於ける「やる気、期待」の研究に関わる内容で、「期待は、動機づけ左右する要因であり、動機づけとは、目的達成への推進力となる。」日常生活にいて「自信がある」「自信がない」「自信が付いた」「自信満々」など、「自分の能力や価値を信じること」等の認知を心理学では「期待」と呼んでいる。

■ 本小のキャリア教育 「全体構想図」



■ 中学校の「進路ファイル」

中学校では、「進路指導」として、「進路ファイル」を中１～中３まで持ち上がりとしてこれまでも実施していた。 今回の「パスポート」は、小・中・高へと繋ぐ、しかも全国で実施となる公簿だ。

■ 天底小・瀬底小の「夢ファイル」

前年定年された「座間味校長」は、天底、瀬底小と１０年に亘り「夢ファイル」を実践し続けてきた。小１～小６までの間を親子で夢を語り続けるとはスゴイ！

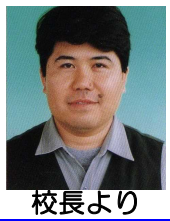
■ 「人生時計」・人生を24時間で例えて観る

※ 人生８０年を２４時間で割ると、３.3333となる為、便宜上「３」で「歳」を割る。

00時	００歳「誕生しました。」オギャ～!
01時	０３歳「３つ子の魂、１００まで」
02時	０６歳「小学校、入学します」
03時	０９歳「小３年、10歳の壁」
04時	１２歳「小６年、中学へ入学する」
05時	１５歳「中３年、高校受験が」
06時	１８歳「高３年、大学等、家を出る」
08時	２４歳「勤務時間、開始」社会人となる
09時	２７歳「仕事も順調、恋人もできる」
10時	３０歳「結婚、出産、子育て」育メン
12時	３６歳「お昼休み、子供のＰＴＡ活動」
14時	４２歳「子供の受験、親子で振り返り」
15時	４５歳「社会人、職業人として振返り」
16時	４８歳「子供の大学受験、親も試練」
17時	５１歳「勤務終了。住宅、教育ローン」
19時	５７歳「子供達も一人前になってる？」
20時	６０歳「夜８時、家に戻る。静かな人生」

【感想】 「琉球大学名誉教授・島袋恒男 氏」⇒「意志型」、「願望型」 提唱する「進路指導」の大御所

○「キャリア教育とは、児童一人一人の【自立】を目指した教育活動の一環であり、生き方・在り方指導！」
○「キャリア・パスポートとは、子供達が自らの学習状況やキャリア形成を振り返るポートフォリオである」
○「ポートフォリオとは、積み重ねる資料・データである。嘗ての自己の考え、思いを振り返り参考とする」
○「将来を見通す為には、人生時計を設定して、いつ頃までに何をする。その為、今は何をすべきか考える」
○「自己理解の為に、自己の気づかぬ自分、他者やクラスから見た自分など、自己有用感が大切となってる」
○「本校の、キャリア教育[P.116]、生徒指導[P.123]、他に、特別活動、総合的な学習の時間、など参照」



校長より